

エコロジカル新素材「Grand Cru」登場 ライフスタイル対応も強化

川越政(株) 2018/19総合展開催

川越政(株)は、12月14日、15日の2日間、本社事務所が入居する大阪府中央区久太郎町の三栄ビル3階において、独自開発素材を提案する2018/19総合展示会を開催した。これまでの合同展形式は一旦終了とし、得意先をさらに深掘りするべく、前回展から単独展示会に切り替えたもの。その第2回目となる今回展では、同社のこだわりの厳選オリジナル新作テキスタイルと、特徴あるOEM製品サンプルの数々を出展した。来展者がインスピレーションを掻き立てやすくなるように、製品サンプルとテキスタイルを同じ場所に展示するなど工夫を凝らしていた。

今回の注目素材は、ワイン畑の最高格付けをあらわす「Grand Cru(グランクリュ)」と名付けられたナチュラル系のエコロジカルなテキスタイルのバリエーションである。世界的に重要視されているエコロジー、サステイナビリティ(持続可能性)を意識し、欧米マーケットへの輸出用として企画したもの。厳選した生地を京都の染工場で染め、メイドインジャパンを謳って戦略的に販売していく商材である。リネンを軸としてビスコース混などのバリエーションを展開。同じ素材でもハード仕上げとソフト仕上げの二通りを用意し、例えばレディースの顧客向けにソフト仕上げを提案するなど、選択肢を増やしている。ナチュラルカラー以外のカラーバリエーションにも対応できる。

また、昨今はアパレル業界でライフス

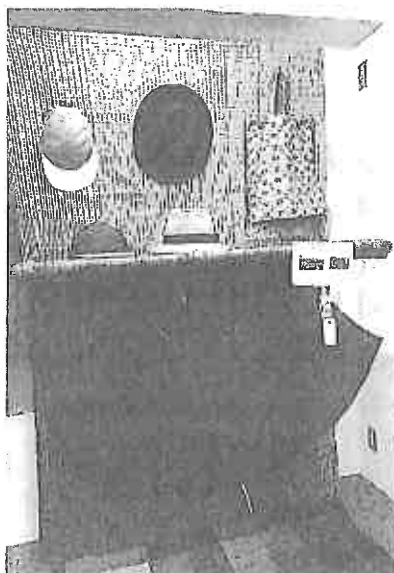


こだわりの独自開発素材の数々を提案

イルをトータルに提案する方向にシフトしていく動きがみられることから、川越政でもこの流れに対応すべく、衣料だけにこだわらず、傘、帽子、かばんなどのライフスタイル提案を強化している。今回展では会場に特設コーナーを設け、衣料用のレインブルーフの素材を使用した傘などを展示し、衣料品以外の用途でも対応可能なことをアピールしていた。これに関連して、鉄の15倍の強度があり軽量で耐久性が高いという米国ダイニーマ社のポリエチレン製品「ダイニーマ」の取り扱いを開始しており、リュックサックなどの用途に向けて提案した。

川越政では、価格競争を避けるべく付加価値性と差別化された商品を中心に展開している。OEMの場合は協力工場の選択肢が多く、顧客の要望に応じて、それぞれの得意分野を持つ工場をチョイスしていく。元々はメンズが主体であるが、レディースの顧客も増えており、レディース向けの素材や衿部分の始末やプリーツ仕様などのサンプル出展で独自性をアピールした。

なお、来年1月25日、26日の2日間、東京でも単独展を開催する。場所は渋谷区神宮前の展示会場ultra Super new gallery。



理想的な数値員の条件
要素を満たしたことで、
多くの病院で使用され床
ずれ防止の好結果も得
た。受講者からは顕微鏡
によるムアツウレタンフ
ォームのセル（立体構造）
やセル膜の確認などを通
して「改めて自信をもっ
て販売できる」との声が
相次いだ。2月には東京
で第5回目の研修会を開
く。最終的な目標は千人
ムアツマイスターにより
売り方のノウハウを蓄積
・共有し、よりの多くの入
に健康と快眠を届ける。

4回開き、約
回約50人
ムアツマイスターが証
習地点を重視
日社長は「一
資自体がテス
が客さまがご
していただい
が合格」と
試験形式は

の突端の形
を得てクレ
トレスとし
医療施設
にも採用さ
ムアツが高

969年、
の突端の形
を得てクレ
トレスとし
医療施設
にも採用さ
ムアツが高

ムアツ商標
保護の活動も
ムアツふんは人気の
ロングセラー商品ゆえ
に、類似品や模倣品も後
を絶たない。特に近年で



ムアツマイスター認定証

大きい。
心持ち増やした。ベース
となったタオルは「傾合
いの良い」使いやすさか
ら、工場に直接問い合わせ

は電子商取引（EC）サ
イトでの氾濫が著しい。
そこで昭和西川は、消費
者保護と販売店保護の観
点から、ECサイト運営
会社に対してムアツの商



再帰反射材使いのパーカ

川越政
各社内PTの提案躍動
独自性にこだわった生地、製品

製品OEMも手掛ける
（PT）の成果でもある。
同社は今期、縮小する
国内産地で将来的に有力
な仕入れ先を確保するた
めの「国内産地対策チー
ム」▽海外販売を伸ばす
ための「エクスポートチ
ーム」▽海外商材のスミ
レスな輸入により販売拡
大とブランド化を推進す
る「インポートチーム」
など計5PTを設
置。各PTは横断的な組

山野タオル工場
愛情風情・ベコ
風呂用の機能追求
入浴時の機能生し守り

標使用について申し入れ
するなど対策を強めてい
る。

織であり社内活性化を図
るのが狙い。このほど開
いた大阪展でこの成果の
一部を披露した。
国内産地対策チームの
成果として打ち出したの
が、リネンを軸とした上
質な天然素材のシリーズ
「グラン・クリュ。グラ
ン・クリュ」とはワインの
格付けの際に最高品質の
畑として用いられるフラ
ンスの言葉で、日本の職
人がこだわりの工法で仕
上げた上質な生地」とい
う意味を含めた。19春夏
向けの先行提案として3
点の生機にさまざまな加
工を施して風合い変化を
付けた生地を用意。14

5巻というダブル幅であ
ることも手伝って顧客か
ら高い関心が寄せられて
いるという。
インポートチームが打
ち出したのがイタリア製
の生地。モエスマ社、パ
ロンプロツ社というウ
ールを軸とした有名生地
メーカーからの輸入で、
日本ではあまり見られな
い上質な柄のチェック
や、厚みがありながらも
軽量感に優れるパイルセ
ットなどを訴求した。
テキスタイル事業の方
針として掲げる「合繊強
化」「雑貨向け強化」の一
環として打ち出した高強
度ポリエチレン繊維「ダ
イニーマ」をUV樹脂で
ラミネートした極薄の生
地、「キューベン・ファイ
バー」も高評価を得た。

木 PTJ参加などで新規開拓奏功
来月2月に最新設備導入
リース企画製造御の溝
呂木（東京都中央区）は
前期に続き今期（12月期）
も前年を上回る業績を見
込む。この背景には①「プ
レミアム・テキスタイル」
・シャパン（PTJ）へ
の出展などで新規開拓、
商機拡大に注力してきた
こと②スイスのリースブ
ランディングアズマ

製品提案でも独自性に
こだわった。専任サイ
ナーを配さない営業との
兼務体制ながら今回展
は独自にデザイン、パタ
ーンした製品を50〜60点
用意。従来から得意とす
るスポーツ・アウトドア
の分野で耐久撥水（はっ
すい）加工を施した綿・
ポリウレタンのコートな
どを打ち出しただけでな
く、機能性や利便性に工
夫を凝らしたカジュアル
ウェアを多数披露。「レ
イス強化」の一環とし
て見た目とタッチにこだ
わったシャツワンドもア
ラウスなども好評だっ
た。

引き継ぎ東京展を、1
月25、26の両日、渋谷区
のウルトラスペースニー
ーギヤラリーで開く。
り組んで、幅の狭いもの
から広幅まで約1200
柄を国内の自社倉庫にス
トックし、通常より短い
納期での対応を可能にし
ている。
他方、同社は最新のモ
ネクタイメーカーの今
井（東京都千代田区）は
現在、レイイニス向けの

今井
ネックウェアの
展開に広がり
バッグのネット販売も予定

後「OLSSIA」アピール
基幹ブランドの提案強化
今治タオル産地のタオ
ルメーカー、丹後（愛媛
）で期間限定
ショップを開いた。OL
組